

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成30年6月14日(2018.6.14)

【公表番号】特表2017-518794(P2017-518794A)

【公表日】平成29年7月13日(2017.7.13)

【年通号数】公開・登録公報2017-026

【出願番号】特願2016-566812(P2016-566812)

【国際特許分類】

A 6 1 F 13/00 (2006.01)

A 6 1 F 13/02 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 13/00 3 0 0

A 6 1 F 13/02 3 4 0

【手続補正書】

【提出日】平成30年4月27日(2018.4.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

組織部位の表面を貫通する開口を閉鎖するためのシステムにおいて、密封空間を形成するために前記開口を覆うように適合されたシール部材と、前記密封空間に負圧を提供するために前記密封空間に流体結合されるように適合された負圧源と、前記開口に隣接して位置付けられるように適合された保護層と、

収縮層であって、前記保護層に隣接して位置付けられるように適合され、かつ硬度係数と、空隙を形成するために前記収縮層を貫通して延びる複数の穴とを有する材料から形成された収縮層と

を含み、前記穴が、前記開口に対して実質的に垂直な方向に前記複数の穴を圧潰させる穿孔形状係数と筋交角度とを有し、前記収縮層が、前記負圧の適用に応答して前記開口を閉鎖する前記組織部位の前記表面と実質的に平行な閉鎖力を生成することを特徴とする、システム。

【請求項2】

請求項1に記載のシステムにおいて、前記複数の穴が約5mmの平均有効直径を有することを特徴とする、システム。

【請求項3】

請求項1または2に記載のシステムにおいて、前記複数の穴が、2列以上の平行な列において形成されることを特徴とする、システム。

【請求項4】

請求項1乃至3の何れか1項に記載のシステムにおいて、前記筋交角度が約90度であることを特徴とする、システム。

【請求項5】

請求項1乃至3の何れか1項に記載のシステムにおいて、前記筋交角度が約90度未満であることを特徴とする、システム。

【請求項6】

請求項1乃至5の何れか1項に記載のシステムにおいて、各穴の前記穿孔形状係数が約

1未満であることを特徴とする、システム。

【請求項7】

請求項1乃至6の何れか1項に記載のシステムにおいて、前記収縮層の厚さが約15mであることを特徴とする、システム。

【請求項8】

請求項1乃至7の何れか1項に記載のシステムにおいて、前記硬度係数が約5であることを特徴とする、システム。

【請求項9】

請求項1乃至7の何れか1項に記載のシステムにおいて、前記硬度係数が約3であることを特徴とする、システム。

【請求項10】

請求項1乃至9の何れか1項に記載のシステムにおいて、前記複数の穴の各穴の形状が六角形であることを特徴とする、システム。

【請求項11】

請求項1乃至9の何れか1項に記載のシステムにおいて、前記複数の穴の各穴の形状が楕円形であることを特徴とする、システム。

【請求項12】

請求項1乃至9の何れか1項に記載のシステムにおいて、前記複数の穴の各穴の形状が円形であることを特徴とする、システム。

【請求項13】

請求項1乃至12の何れか1項に記載のシステムにおいて、前記収縮層が圧縮発泡体を含むことを特徴とする、システム。

【請求項14】

請求項1乃至12の何れか1項に記載のシステムにおいて、前記収縮層がフェルト発泡体を含むことを特徴とする、システム。

【請求項15】

請求項1乃至12の何れか1項に記載のシステムにおいて、前記収縮層が3Dスペーサーファブリックを含むことを特徴とする、システム。

【請求項16】

請求項1乃至12の何れか1項に記載のシステムにおいて、前記収縮層が熱可塑性エラストマーを含むことを特徴とする、システム。

【請求項17】

請求項1乃至12の何れか1項に記載のシステムにおいて、前記収縮層が熱可塑性ポリウレタンを含むことを特徴とする、システム。

【請求項18】

組織部位の表面を貫通する開口を閉鎖するための装置において、
収縮層であって、前記開口に隣接して位置付けられるように適合され、かつ硬度係数と、空隙を形成するために前記収縮層を貫通して延びる複数の穴とを有する材料から形成された収縮層

を含み、前記穴が、前記開口に対して実質的に垂直な方向に前記複数の穴を圧潰させる穿孔形状係数と筋交角度とを有し、

前記収縮層が、負圧の適用に応答して前記開口を閉鎖する前記組織部位の前記表面と実質的に平行な閉鎖力を生成することを特徴とする、装置。

【請求項19】

請求項18に記載の装置において、前記複数の穴が約5mmの平均有効直径を有することを特徴とする、装置。

【請求項20】

請求項18または19に記載の装置において、前記複数の穴が、2列以上の平行な列において形成されることを特徴とする、装置。

【請求項21】

請求項 1 8 乃至 2 0 の何れか 1 項に記載の装置において、前記筋交角度が約 90 度であることを特徴とする、装置。

【請求項 2 2】

請求項 1 8 乃至 2 0 の何れか 1 項に記載の装置において、前記筋交角度が約 90 度未満であることを特徴とする、装置。

【請求項 2 3】

請求項 1 8 乃至 2 2 の何れか 1 項に記載の装置において、各穴の前記穿孔形状係数が約 1 未満であることを特徴とする、装置。

【請求項 2 4】

請求項 1 8 乃至 2 3 の何れか 1 項に記載の装置において、前記収縮層の厚さが約 1.5 mm であることを特徴とする、装置。

【請求項 2 5】

請求項 1 8 乃至 2 4 の何れか 1 項に記載の装置において、前記硬度係数が約 5 であることを特徴とする、装置。

【請求項 2 6】

請求項 1 8 乃至 2 4 の何れか 1 項に記載の装置において、前記硬度係数が約 3 であることを特徴とする、装置。

【請求項 2 7】

請求項 1 8 乃至 2 6 の何れか 1 項に記載の装置において、前記複数の穴の各穴の形状が六角形であることを特徴とする、装置。

【請求項 2 8】

請求項 1 8 乃至 2 6 の何れか 1 項に記載の装置において、前記複数の穴の各穴の形状が橢円形であることを特徴とする、装置。

【請求項 2 9】

請求項 1 8 乃至 2 6 の何れか 1 項に記載の装置において、前記複数の穴の各穴の形状が円形であることを特徴とする、装置。

【請求項 3 0】

請求項 1 8 乃至 2 9 の何れか 1 項に記載の装置において、前記収縮層が圧縮発泡体を含むことを特徴とする、装置。

【請求項 3 1】

請求項 1 8 乃至 2 9 の何れか 1 項に記載の装置において、前記収縮層がフェルト発泡体を含むことを特徴とする、装置。

【請求項 3 2】

請求項 1 8 乃至 2 9 の何れか 1 項に記載の装置において、前記収縮層が 3D スペーサー ファブリックを含むことを特徴とする、装置。

【請求項 3 3】

請求項 1 8 乃至 2 9 の何れか 1 項に記載の装置において、前記収縮層が熱可塑性エラストマーを含むことを特徴とする、装置。

【請求項 3 4】

請求項 1 8 乃至 2 9 の何れか 1 項に記載の装置において、前記収縮層が熱可塑性ポリウレタンを含むことを特徴とする、装置。